

2013年度のまとめ

「地域の役に立ち、要求にこたえる友の会を」と、引き続き仲間増やしやふれあい支え合いの活動、会員・患者総訪問などに取り組むとともに支部の分割を進め、1年間で14支部から21支部となりました。総合病院の建て替え、高齢者向け事業も順調に進んでいます。以下、それぞれの分野での取り組みのまとめを報告します。

〈健康づくり活動〉

毎年恒例の春のハイキングには貝塚の寺内町や水間寺へ28名が参加しました。第5期保健学校は「健康寿命を考える」というテーマで医師・管理栄養士・トレーナーが講師にあたり、15名が受講し、うち6名が全過程を終了しました。「ウォーキングアドバイザー養成講座」には5名が受講し1名が新たにアドバイザーとして認定されました。(述べ50名) 歩行実習は秋のてくてくウォーキングの参加者と一緒に堺の古墳めぐりをし、10⁺完歩しました。「安全に歩行する事の基本が良く理解できた」「今後はまわりの人達に学んだことを伝えたい」などの感想が寄せられました。歯科講座は「口腔ケアの大切さについて」に10名が受講、「歯ブラシの当て方の角度が分り、目からウロコでした!」「Drの話はわかりやすく楽しく学べた」と参加者からは好評でした。健康チェックは7支部でのべ52回開催、730の方が健康チェックを受けられました。健康づくりチャレンジは第9回を実施中で1201名がチャレンジしています。



健康チェック (浜寺支部)

〈ふれあい・支え合いのまちづくり〉

仲間づくりや担い手づくりなど、4課題の目標を中心に据えたたまり場づくりが支部の要求として正面に据えられ、一気に2カ所から7カ所に増えました。院内の友の会ルーム他を含めると21支部中15支部に会員の居場所ができた事になります。たまり場では、「小物づくり・絵手紙・映画会・昼食会」等、地域の交流の場として活用され、どんどん新しい仲間も迎えています。また、たまり場のない支部でも趣味の会やふれあいサロンなどが旺盛に進められるようになりました。南花田支部のまちなみウォッチングでは、区交渉の結果が実を結び「道路の改修・通学路にグリーンベルトの設置・歩道を狭めていた電話ボックスの移動や歩道橋の撤去」等など、まちづくりに貢献できました。

無料法律相談は、総合・鳳エリアで定期開催し14の方が利用されました。無料低額診療を支える「いのちの募金」は1年間で305,197円ご協力頂きました。



たまり場での食事会(大浜支部)

〈「とも」の配布と内容充実〉

機関紙「とも」編集委員会は、毎月定期的に行われてきました。「見て読みたくなる」、「読んでおもしろい」、「読んで分かり易い」、「役に立つ」を基本に編集委員会で紙面づくり・講成を話し合ってきました。特に①全体に字数を制限する②写真を大きくし、バランスを工夫し見やすくする③その時々話題も重視して掲載することに努力してきました。その結果、機関紙「とも」の紙面の構成・内容がより改善され、評価をいただいています。

機関紙「とも」は、前年度から1,125部増え、33,779部となりました。手配り数は前年度から1,186部増え25,063(74.2%)となっています。郵送は前年度から205部増えて8,653部(25.6%)となりました。

各支部では、地域訪問などで配達協力者づくりに奮闘し、新しい協力者も増えました。「とも」配達協力者懇親会は、年に1度ほぼ全支部で行い、協力者間の交流をはかることができました。

また、秋には友の会30周年をむかえ、「とも」の紙質や一部見出しなど変更し、編集後記も掲載するようになり、読者からのお便りも増えてきました。

同仁会の「まど」担当者も編集委員会に毎回参加するようになりました。

〈支部・班づくり・会員拡大〉

17支部から25支部を目標に支部づくりを進めました。高石支部・中区支部・みなと大仙西支部での分割が行われ、21支部を有する組織となりました。大浜支部や高石地域でもたまり場づくりがすすみ、泉北地域でも支部結成の機運が高まっています。地域の要求にこたえる活動やつながりを広げる取り組みが友の会への信頼を強め、成果につながっています。

仲間増やしは6000世帯の目標をかかげ、訪問行動や玄関前、「会員利用率100%週間」などに取り組み、1935世帯を達成しました。経年的にみた仲間増やしの状況は、事業所からの拡大数は一進一退の傾向がありますが、支部からの拡大数は年を重ね着実に増加しています。また、支部分割やたまり場づくりが行われている支部・エリアでの仲間増やしの伸びが顕著です。地域でのつながりやまちづくりへの思いが、仲間増やしに結実していることがうかがえます。

班活動では、74班が班会を開催しましたが、100班という目標には届きませんでした。多彩な班をつくり動いている支部と足を踏み出せていない支部との格差が広がっています。班は気楽に集まることができ、つながりを広げることができるとりくみです。経験も交流しながら班づくりをすすみましょう。友の会会員総訪問は、今年は大阪民医連南ブロックの法人も参加し、延べ292人の



支部結成とたまり場設置 (西陶器支部)



とも配達 (東西支部)

職員と274人の担い手さんが3,866件を訪問、1,378人と対話しました。

〈みみはら協同基金〉

2013年1月より待ちに待った総合病院の建設工事がスタートしました。協同基金の出資増資運動は、職員とともに5億円目標で取り組み、金額では4億円を突破しました。

毎月積み立て袋等を利用して協力者を増やしている支部がある反面、ほとんど取り組めていない支部もあり、支部分割が進む中での各支部間の到達に大きな開きが出る結果になりました。新病院建設工事の進捗お知らせと合わせ昨年に続き3月に全会員の皆さんに協同基金の願いを送付、多くの方から協力を頂き、新病院への期待の高さを再認識させられました。

みなと・大浜・南花田・新金岡・和泉の5支部が件数・金額の両目標を達成。また、件数では津久野・鳳・ふくいずみの3支部が、金額では東西・美木多・泉ヶ丘西・高石東・高石南の5支部がそれぞれ目標を突破、昨年同様件数全体で3,000件を突破しました。

今年度は友の会支部全体では3,576件、4853万8000円の協力をいただきました。

また、3月末現在11,631の方が協同基金の出資をし、出資者比率は33.5%から34.5%になりました。

〈いつでも元気〉

各支部で目標をもち普及に努め、年間で54部増の709部となっています。(655⇒709)。職員含め対世帯数比率で2%目標を突破しました。

〈社保平和委員会〉

原水禁世界大会に友の会から1名が参加しました。参加にあたり平和行進やうちわづくり、平和バザー、署名、折り鶴などに取り組みました。安倍政権のもと改憲への動きが強まる中で、引き続き憲法9条守れと「9の日宣伝」を総合、鳳、南花田で取り組んでいます。また高石ブロックでも9条の会再開に向け取り組みが始まっています。



竹山市長来たる(まちづくりの会)

原発ゼロの会への加入は友の会・職員合わせて280名となり、反原発集会にも積極的に参加しています。社会保障の改憲が進められる中で、TPP、社会保障の充実、介護保険改善、堺社保協が行った「住んで良かった堺市に」署名など、社会保障改善に向けた取り組みを行いました。9月には、橋下大阪維新の会の堺市つぶしを許さないと、医療・介護・まちづくりの会に友の会も加入し、多くの会員さんに訴え、竹山市長の再選に貢献しました。

〈共同の営み〉

引き続き総合病院、鳳クリニック、高砂クリニック、歯科診療所、老松診療所、高石診療所で院所利用委員会を開催するとともに、総合病院、鳳クリニック、ファミリークリニック、高石診療所では安全ラウンドにも参加しています。また、健康づくり、新病院建設、医学生、共同基金や社保平和の各委員会に参加するとともに、今期から看護婦確保推進委員会にも代表を送りました。加えて、新病院のモックアップ見学への参加やサービス付き高齢者住宅の運営にも参加するなど、同仁会グループとの共同の取り組みを強化してきました。



モックアップ見学会

〈楽しい行事〉

多くの支部や班で、お花見に始まり、ウォーキング、山登り、バスツアー等、法人のマイクロバスがフル回転の年で、1年を通じて楽しい企画に大いに取り組みました。年2回の旅行サークルバスツアーは今年で19回目となりました。また法人グループと共に、映画「渡されたバトン」上映や「赤ひげ」観劇にも取り組み、多くの方が鑑賞し好評でした。初開催の大阪民医連南ブロックでの健康平和まつり、総合病院や各診療所での「健康まつり」も職員と会員が中心となって地域のみなさんと力を合わせて取り組みました。さらに、たまり場が4カ所増え、いろんなサークル班に多くの会員さんが参加し、楽しんでいます。その行事等



健康平和まつり (南ブロック)

なかで、会員拡大も大いに進みました。

〈組織運営〉

友の会活動を進めていくうえで重要な「代表世話人会議」「支部世話人会議」は引き続き定例で開催されています。また、支部分割が進む中で重視してきた事業所・行政区を基本としたエリア会議も定着しつつあります。

「ふれあい支え合い」「とも」編集などの委員会も定期開催することができました。地域での取り組みを推進するうえで重要な「たまり場」が新たに中区で3カ所、大浜地域と高石市に1カ所ずつ設置し、津久野地域でも検討が進んでいます。友の会役員の専任配置も一人増え、会員自らが支部・班活動を支え、推進するスタイルが前進しています。



拡大代表世話人会集中討議